

# 2025年度 一般社団法人 日本カウンセリング学会

## カウンセリング心理士資格認定試験（試験方式） 実施要項

### 1 資格認定試験（試験方式）実施の趣旨

一般社団法人日本カウンセリング学会（以下、日本カウンセリング学会という。）では、創設以来、カウンセリングをととして国民の教育、健康、福祉の向上に貢献し、あわせてカウンセリングの研究と実践の発展に資するため、カウンセリングを専門とする優れたカウンセラーの養成についても努めてきた。そして1986年度からは、本学会に所属し、カウンセリングについての一定の学識と技能を有する会員に対し「日本カウンセリング学会認定カウンセラー」の名称を付与し、その資質の認定を行なってきた。そして、2020年に「認定カウンセラー」資格は「カウンセリング心理士」資格へと名称を変更した。※今年度は「認定カウンセラー養成カリキュラム（改定版）」修了者用の試験内容と「カウンセリング心理士養成カリキュラム」修了者用の2種類の試験内容のどちらかを選択して解答する移行期間となる。

【今後の予定】

※2025年度、2026年度の2年間が移行期間となる。その間は、「認定カウンセラー養成カリキュラム（改定版）」修了者用の試験内容と「カウンセリング心理士養成カリキュラム」修了者用の2種類の試験内容のどちらかを選択して解答する形式となる。

※2027年度から、「カウンセリング心理士養成カリキュラム」修了者用の試験内容のみに移行する。

### 2 受験資格

2025年度の資格認定試験（試験方式）による認定を申請するものは、次の(1)、(2)、(3)のいずれかの条件に該当していなければならない。

#### (1) I 一般受験者

- ① 本学会の会員として入会し2年以上経過（2025年10月25日現在）していること。
- ② 本学会「認定カウンセラー養成カリキュラム（改定版）」または、「カウンセリング心理士養成カリキュラム」の一般会員対象の研修基準を満たしているもの。

#### (2) II 心理学系大学院（修士課程・博士前期課程）在籍者・修了者（指定大学院を除く）

- ① 修士の学位を取得していて、本学会の会員として入会し1年以上経過（2025年10月25日現在）していること。
- ② 在籍者は、入会后1年以上で受験し、合格した場合は、修士課程あるいは博士前期課程修了を条件として認定証を得ることができる。
- ③ 本学会「認定カウンセラー養成カリキュラム（改定版）」または、「カウンセリング心理士養成カリキュラム」の心理学系大学院（修士課程）在籍者・修了者対象の研修基準を満たしているもの。

#### (3) III 本学会「カウンセリング心理士資格認定校」の指定を受けた大学院（専攻・領域・コース）の在籍者・修了者\*

- ① 本学会「カウンセリング心理士資格認定校」で修士の学位を取得していて、本学会の会員として入会し1年以上経過（2025年10月25日現在）していること。
- ② 在籍者は、入会后1年以上で受験し、合格した場合は、修士課程あるいは博士前期課程修了を条件として認定証を得ることができる。

③ 「カウンセリング心理士資格認定校」の指定を受けた大学院

- ・都留文科大学大学院文学研究科 臨床教育実践学専攻 教育臨床心理学領域
- ・東京福祉大学大学院心理学研究科 臨床心理学専攻
- ・兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教育実践高度化専攻 教育方法・生徒指導マネジメントコース
- ・兵庫教育大学大学院学校教育研究科 人間発達教育専攻 学校心理・学校健康教育・発達支援コース
- ・筑波大学大学院人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 カウンセリング学位プログラム

※ カウンセリング心理士資格認定校の指定を受けた年度以降の修了者が該当する

### 3 提出書類

(1) 一般受験者

| 認定カウンセラー養成カリキュラム (旧)                                                                                                                                                       | カウンセリング心理士養成カリキュラム (新)                                                                                                                                                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受験願書の「提出書類その10-1」に従って提出のこと。また、「スーパービジョン実施報告書」のコピーとスーパービジョンを受けた <u>3回分</u> の資料が必要になる。1事例(1グループ体験)をA4の用紙1~2枚とし、全部で3~6枚にまとめて提出する。なお、ロールプレイの延長線上にあるようなものはスーパービジョンの事例として認められない。 | 受験願書の「提出書類その10-1」に従って提出のこと。また、「スーパービジョン実施報告書」のコピーとスーパービジョンを受けた <u>4回分</u> の資料が必要になる。1事例(1グループ体験)をA4の用紙1~2枚とし、全部で4~8枚にまとめて提出する。なお、ロールプレイの延長線上にあるようなものはスーパービジョンの事例として認められない。 |

(2) 心理学系大学院(修士課程・博士前期課程)在籍者・修了者(指定大学院を除く)

| 認定カウンセラー養成カリキュラム (旧)                                                                                                                                     | カウンセリング心理士養成カリキュラム (新)                                                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受験願書の「提出書類その10-2」に従って提出のこと。また、大学院の授業のカウンセリング実習で担当した事例記録(ワープロ4000字以内)と担当教員のスーパービジョンを受けた報告書(スーパービジョン実施報告書)を1事例以上提出する。その記録がない者は、一般受験者と同様 <u>3回分</u> 提出すること。 | 受験願書の「提出書類その10-2」に従って提出のこと。また、大学院の授業のカウンセリング実習で担当した事例記録(ワープロ4000字以内)と担当教員のスーパービジョンを受けた報告書(スーパービジョン実施報告書)を1事例以上提出する。その記録がない者は、一般受験者と同様 <u>4回分</u> 提出すること。 |

(3) 本学会「カウンセリング心理士資格認定校」の指定を受けた大学院(専攻・領域・コース)の在籍者・修了者

受験願書の「提出書類その10-3」に従って提出のこと。また、大学院の授業のカウンセリング実習で担当した事例記録(ワープロ4000字以内)と担当教員のスーパービジョンを受けた報告書(スーパービジョン実施報告書)を1事例以上提出する。

### 4 試験方法

(1) 一般受験者

資格認定試験(試験方式)は筆記試験と面接試験による。

① 筆記試験

筆記試験では、カウンセリングに関する基礎知識が身についているか否かを明らかにする。

| 認定カウンセラー養成カリキュラム (旧)                                                                                                                                            | カウンセリング心理士養成カリキュラム (新)                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・出題範囲は、日本カウンセリング学会「認定カウンセラー養成カリキュラム(改定版)」研修基準のA・B・C領域から基礎的な問題を出題する。全体の問題数は60問程度とする。</li> <li>・合格の基準は70%程度とする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出題範囲は、日本カウンセリング学会「カウンセリング心理士養成カリキュラム」研修基準のA・B・C・D領域から基礎的な問題を出題する。全体の問題数は60問程度とする。</li> <li>・合格の基準は70%程度とする。</li> </ul> |

② 面接試験

面接試験は1人20分程度とし、次の2点について行なう。

- ・人物（人柄、人間性など）がカウンセリング心理士にふさわしいか否か。
- ・スーパービジョンを受けた内容について、事前に提出した資料に基づいて試験委員が質問を行なう。

(2) 心理学系大学院（修士課程・博士前期課程）在籍者・修了者（指定大学院を除く）

資格認定試験（試験方式）は筆記試験と面接試験による。

① 筆記試験

筆記試験では、カウンセリングに関する基礎知識が身についているか否かを明らかにする。

| 認定カウンセラー養成カリキュラム（旧）                                                                                     | カウンセリング心理士養成カリキュラム（新）                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・出題範囲は、日本カウンセリング学会「認定カウンセラー養成カリキュラム（改定版）」研修基準のA・B・C領域から基礎的な問題を出題する。全体の問題数は60問程度とする。<br>・合格の基準は70%程度とする。 | ・出題範囲は、日本カウンセリング学会「カウンセリング心理士養成カリキュラム」研修基準のA・B・C・D領域から基礎的な問題を出題する。全体の問題数は60問程度とする。<br>・合格の基準は70%程度とする。 |

② 面接試験

面接試験は1人20分程度とし、次の2点について行なう。

- ・人物（人柄、人間性など）がカウンセリング心理士にふさわしいか否か。
- ・カウンセリング実習で担当した事例記録を事前に提出し、その内容について試験委員が質問を行なう。

(3) 本学会「カウンセリング心理士資格認定校」の指定を受けた大学院（専攻・領域・コース）の在籍者・修了者

資格認定試験（試験方式）は面接試験による。

面接試験は1人20分程度とし、次の2点について行なう。

- ・人物（人柄、人間性など）がカウンセリング心理士にふさわしいか否か。
- ・カウンセリング実習で担当した事例記録を事前に提出し、その内容について試験委員が質問を行なう。

## 5 試験実施日程

(1) 実施要項配布：2025年8月中旬（学会会員に郵送）

(2) 出 願 期 間：2025年9月1日（月）～2025年9月8日（月）

郵送によること（当日の消印有効）。

締切りを過ぎてからの願書の受付けは一切しない。

(3) 受験票送付：10月1日（水）～10月6日（月）

受験票が10月9日（木）に届いていない場合は、日本カウンセリング学会事務局に連絡すること。

(4) 試 験 日 時

筆記試験：2025年10月25日（土） 10：00～11：40

面接試験：2025年10月25日（土） 13：00～17：00

面接試験は上記の時間帯に行なう。

面接試験の日程および順番は追って通知する。

事前の問い合わせは一切受けない。

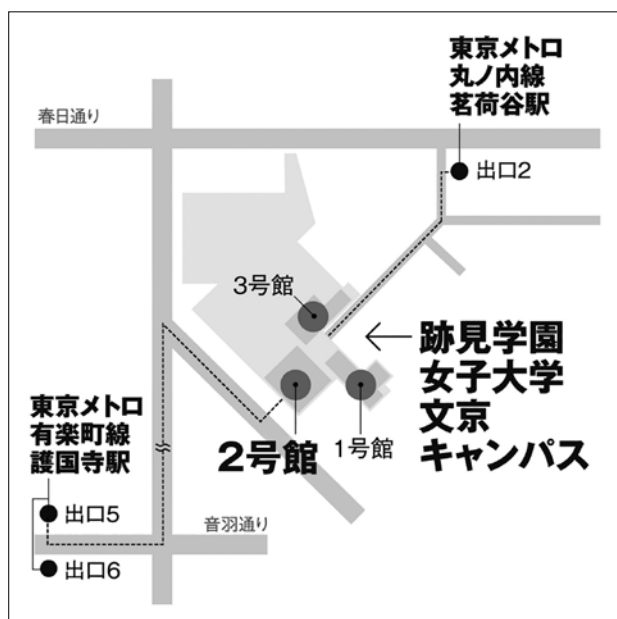
(5) 合 否 通 知：2026年1月下旬～2月上旬（予定）

## 6 受験・認定費用

- (1) 受験料：2万円（出願までに所定の口座に振り込むこと）  
一度納入された受験料は返金しない。
- (2) 資格認定料：3万円（資格認定試験に合格してから振り込むこと）

## 7 筆記試験・面接試験の会場

東京都文京区大塚1-5-2  
跡見学園女子大学文京キャンパス 2号館



※東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅より  
徒歩約2分

※東京メトロ有楽町線 護国寺駅より  
徒歩約8分

## 8 受験料の振込先

郵便振替口座番号：00150-6-324925

加入者名：一般社団法人日本カウンセリング学会

## 9 受験願書の提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-2

佑和ビル2F

一般社団法人 日本カウンセリング学会 資格認定委員会

## 10 日本カウンセリング学会の連絡先

〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-2

佑和ビル2F

一般社団法人 日本カウンセリング学会事務局

TEL&FAX 03-6304-1233

受付日時 月～金 10:00～17:00

## 11 日本カウンセリング学会のホームページ

(<https://www.jacs1967.jp/>)

上記のホームページ・アドレスで、資格認定試験（試験方式）実施要項を閲覧することができる。